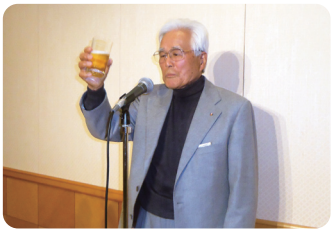
# 前週例会（1月15日）レポート

## 親睦夜間例会（新年会）

















**誰に話してもすべらない雑学 ▶▶▶ 「一富士、二鷹、三茄子」には続きがあった！**

「一富士、二鷹、三茄子」といえば、初夢として見ると縁起がよいものを順番にいった言葉。もとは、徳川家康の好きだったものを順に並べたともいわれるが、江戸時代にはさらに四から六までの続きがあり、当時は誰もが一から六まで覚えていたという。そこで、「四」からの続きをいうと、「四扇、五多波姑、六座頭」となる。扇子とタバコ、それに座頭。座頭とは、弾き語りをする法師で、縁起のよいときに行う宴会で欠かせないものだった。

高松東ロータリークラブ　会長　新谷　哲夫　　幹事　上野　明